



SFファンタジー 7人の勇者



①概要・コンセプト ※何を描きたいか

- 長き歴史を持つ物語（大河的構造）
- 本来の歴史というものが存在し、主人公の介入で変化する
- インスパニア元の作品に「クロノトリガー」「無職転生」がある。
- プリンセスを救うための壮大な想いの物語の結末を描くもの
- 「銀狼の薬蜜」の続編にあたり、「銀双環の舞巫女」のもう一つの世界を描いた話

②世界観イメージ ※どのような世界か

- 7人の勇者が誕生し、世界を救うために旅をし、真相を知り、プリンセスを助けるため、異次元の生物と対峙する物語。
- 異世界から来た少女は狼の耳と尻尾を持ち、「銀狼」と呼ばれる。彼女らの肉体には元々存在していなかった万物を治す「蜜」が体内に流れていた。
- 銀狼の娘から産まれるのが強靱な肉体を持つ「勇者」である。
- 世界の歪でもある「魔物」を単独で倒せるのも勇者のみ。魔物は大人数十人がかりでようやく1体倒せるレベルの強さ。
- また同時期に国同士町同士での対立も起きており、世界は混乱を極めることになっている。

③あらすじ・話の長さ規模 ※内容と規模

- 7人の勇者それぞれの視点から始まるオムニバス形式からスタート。それぞれバラバラな目的を抱き、旅立っていく。
- 旅立ったのちそれぞれ出会い、手を取って共に行動していく。
- その道中で世界の真相を知っていき、バラバラだった目的がねじれてまとまり、彼らの目的はひとつに定まっていく。
- しかし、その目的は一筋縄ではいかず一度敗北を喫し、命からがら逃げおおせ、さらなる真実。自分たちは元の歴史ではここで全滅していたことを知る。
- 元の歴史にはなかった存在が打開のカギとなり、再起を果たす。
- そして元凶との戦いに勝利し、プリンセスを解放することとなった。さらに世界に人柱のいない世界にすることに成功し完結。

④主要キャラの概要 ※ざっくり

- 7人の勇者
- 勇者の母たち（7人）
- 勇者を支えるサブキャラクター
- プリンセスと神族の少女

⑤魅せたいものなど(趣味なのでその通りになるかは別)
※セールスポイント・仮想ターゲット層など

- クロノトリガーのように長い歴史が存在し、受け継がれる意志によって紡がれるストーリー
- 様々な視点から描かれる大河的壮大なストーリー
- 他作品でも影響を与えてきたプリンセスと少女を救うためのストーリー
- この作品の媒体はRPGゲームでやるのが合っているかもしれない。
- 敵は悪いやつではなく、生物学的根源というかその生物の本能が人間達と相いれないような存在。